

稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



そぶえイチョウ黄葉まつり イチョウガイド(祐専寺)にて



新年のあいさつ

明けましておめでとうございます。

平成31年の新春を迎え会員の皆様には心からお喜び申し上げます。

稲沢市観光協会は、発足以来13年を迎えようとしています。

稲沢市の観光事業推進につきましては、関係者一同懸命に取り組んでいただいております、その間会員皆様方の一ならぬ御協力と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年3月には、「いなざわ梅まつり」、4月の「桜まつり」と「いなざわ植木まつり」、6月の「稲沢あじさいまつり」、8月の「稲沢夏まつり」、10月の「稲沢サンドフェスタ」と、「稲沢まつり」、11月の「そぶえいちょう黄葉まつり」など各季節に応じた稲沢の特色を生かした行事には、市内外から大勢の方々を訪れ、稲沢の自然を楽しんでいただきました。

稲沢市の特産物を紹介する事業としては、「地産地消おしゃれな料理教室パート9」の開催や各イベントにおいて会員菓子店の協力を得て稲沢市の銘菓を販売していただいております。

10月から実施いたしました「おすすめグルメシールラリー」では、稲沢の味を楽しんでいただける味わいとおもてなしのお店を紹介し、観光とグルメ情報を市内外に発信しまし

たところ、多くの方々に参加していただくことができました。

今年度は市制施行60周年の年ということもあり、多くのイベント、行事が開催されました。

稲沢市観光協会では、市制60周年記念の「いなっピーグッズ」としてクリアジャンプ傘を数量限定で作成し、販売しましたがたいへん好評を得ています。今後も「いなっピーグッズ」の販売をおとして稲沢市のPRをさせていただきます。

本番を迎えた愛知デスティネーションキャンペーンでは、そぶえいちょう黄葉まつりに合わせて県外から多数の観光客が来場され、観光ボランティアの方々のご協力を得ておもてなしをさせていただきました。

また、「第10回愛知県観光交流サミットinいなざわ」を稲沢市などと連携して開催しました。サミットで提言されましたことを今後の観光まちづくりと地域の魅力創出につなげていきたいと考えております。

本年も、関係機関との連携強化に努め、「第13回いなざわ梅まつり」の開催をはじめ、観光資源の発掘、情報発信の充実を図りながら、多くの皆様にお越しいただけるよう努力してまいりますので、会員の方々を始め、市民の皆様のご支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくお祈りいたします。



稲沢市観光協会 会長

山田 信行

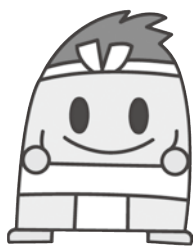


稲沢市のキャッチコピー



稲沢市長

加藤 錠司郎



©稲沢市 いなっピー

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、お健やかに清々しい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また平素より、市政の各般にわたりまして、御支援と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

稲沢市観光協会は平成18年に設立され、本市の観光振興の推進母体として御活躍いただいております。この3月に愛知県植木センターで開催されます、初春の風物詩として親しまれています「いなざわ梅まつり」をはじめ「国府宮はだか祭」「桜まつり」「植木まつり」「あじさいまつり」「イチョウ黄葉まつり」などの四季を感じることができる祭りや「稲沢まつり」「稲沢夏まつり」「サンドフェスタ」などの多くの来場者がみえるイベント、矢合観音や善光寺東海別院、荻須記念美術館など年間を通じて多くの来訪者のある施設に、毎年200万人を超える人が訪れています。機会あるごとに観光ボランティアの皆さんが、きめ細やかな配慮と温かい心で、稲沢市キャンペーン・レディーの皆さんには、明るく元気な稲沢市をアピールしていただくなど、来場者にはおもてなしの精神で接していただいておりますことに深く感謝いたします。

昨年は稲沢市制60周年を記念して各種事業が開催されました。去る11月には第10回愛知県観光交流サミットが本市で開催され、市内外から多くの方々に御来場いただきました。観光関係者の皆様と交流を深め、本市の魅力をPRする絶好の機会

になったと考えております。また、愛知県では、国内最大規模の観光キャンペーンであるデスティネーションキャンペーンが現在展開されており、秋には注目企画の1つとして、イチョウの町散策ツアーも開催されました。これらの効果もあり、「イチョウ黄葉まつり」には過去最多の27万人を超える来場者が訪れ、多くの賑わいを見せました。引き続き愛知県に大勢の観光客が訪れることが見込まれるため、本市でも賑わいと活力あるまちづくりを進めるにあたり、全国からのお客様をお迎えし、市の魅力を発信できるように全力で取り組んでまいりたいと思います。

観光事業の推進は地域を活性化するものであります。昨年4月にスタートしました「稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）」においても、観光協会が大きな役割を担うこととなっております。「稲沢の“光”をつなぐ観光まちづくり」をテーマに、稲沢市の活性化につなげていくため、関係団体、事業者、観光ボランティアの皆様をはじめ、地域で活躍される様々な方との連携協働により取組を進めてまいりの中で、観光協会にはその中心的な主体として、今後益々の活躍を御期待申し上げます。

「人にやさしく活力あるまちづくり」を目指し、市民の皆様が誇りと愛着の持てる観光まちづくりの推進に努めてまいりますので、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が皆様方にとって幸多い良き年となりますよう、心から御祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

謹賀新年

稲沢市観光協会 役員名簿
(一月一日現在)

顧問 長屋 宗正 久保田 浩文

名誉会長 鈴木 純

会長 山田 信行

副会長 加藤 錠司郎

理事 白比野 昭光

眞野 宏男

愛甲 昇寛

安藤 之一

林 敬順

堀田 春樹

田畑 昌樹

福島 俊治

山内 晴雄

川瀬 観隆

家田 鐵彦

伊藤 昭

酒井 章治

岩間 福幸

山田 浩之

監事 角 山田 浩之

堅田 利典

野村 正修

服部 久昌

加藤 有揮

西村 茂夫

林 浅野 博

表 ひろみ

宇佐美 忠孝

加藤 豪

川上 久登志

小島 洋一

山脇 敏夫

齊藤 光宏

水谷 裕

由中 裕

各種イベントに参加し観光PRと"いなっピーグッズ"や特産品の販売を行い、いずれの会場においても大変好評でした。



INAZAWA

稲沢サンドフェスタ

今年度もイベント開催を二日間とし、砂像の制作期間(9月29日～10月12日)14日間、展示期間(10月13日～10月21日)9日間となり、制作の様子や完成品の見学をすることができました。

来場者は、イベント開催の両日とも天候に恵まれ、51,000人が来場されました。

今年度は稲沢サンドフェスタが第30回の節目を迎えるとともに市制60周年にあたる年でもあり、記念となる特大砂像も制作されました。また、砂像のテーマを「アニバーサリー30th～ありがとう平成～」と題して11作品が制作され、チーム名「たくぼー&ななっぺ&ことちゃん」の題名「瞬間に過ぎた幾歳月」が金賞の栄冠に輝きました。その他のイベントとしては、サンドアート体験コーナー、宝探し大会、クイズラリー、ご当地グルメコーナーなどたくさんの催し物が開催されました。



- 期 日／平成30年10月13日(土)・14日(日)
- 場 所／サリオパーク祖父江

また、今年度の「ご当地キャラクター大集合!&市民ステージ」では、「いなっピー」を始め近隣の「あまえん坊」、「い〜わくん」、県外からも「タボくん」、「いが☆グリオ」、「与〜くん」など25体が出演し、チビっ子達との触れ合いや、記念写真を撮っていました。

観光協会では、観光コーナーを設置し、稲沢市観光ガイドマップや観光チラシ等で観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



金賞「瞬間に過ぎた幾歳月」(チーム名/たくぼー&ななっぺ&ことちゃん)

INAZAWA

稲沢まつり



今年は、20日(土)・21日(日)の二日間開催されましたが、天候にも恵まれ来場者は、両日で107,000人でした。

国府宮参道の両側では、地元特産品販売などの出店や側道には露店が立ち並びました。また、参道屋外ステージでは、クラウンパフォーマンスステージや怪盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショーなどのライブが行われ、稲沢中学校会場では、稲沢市制60周年記念企画「みんなでつくろう手形アート」、未来の乗り物「セグウェイ・インモーション」乗車体験などが行われました。

国府宮参道では、園児鼓笛隊パレードが行われ、園児の姿を追

- 期 日／平成30年10月20日(土)・21日(日)
- 場 所／国府宮参道、稲沢中学校、名古屋文理大学文化フォーラムほか

う両親や祖父母の姿が印象的でした。

名古屋文理大学文化フォーラムでは、米村でんじろうサイエンスショー、秋の芸術祭・芸能発表会など多彩な催し物が行われました。

観光協会では、観光ボランティアの協力を得て稲沢市の観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



INAZAWA

ご当地キャラ博 in 彦根

今年は好天に恵まれ、37都道府県から162体のキャラクターが集まりさまざまなパフォーマンスを繰り広げ来場者を楽しませました。

会場内にはキャラクターステージや飲食グルメブースなどが設置され、約93,000人の来場者で賑わいました。

観光協会は、市職員とともに稲沢市をPRするため今年も参加しました。ステージでは、それぞれのご当地キャラクターが地元のPRを行い「いなっピー」は、多くの来場者との写真撮影にも応じ、人気を博しておりました。また、会



- 期 日／平成30年10月20日(土)・21日(日)
- 場 所／彦根中心市街地商店街一帯

場では、稲沢市の観光パンフレットの配布や、「いなっピーグッズ」の販売も行い、稲沢市のPRを行って来ました。



第21回そぶえイチョウ黄葉まつり

～日本一の黄金色 眺めてよし、翡翠色の銀杏 食べてよし～

第21回そぶえイチョウ黄葉まつりが、11月23日(金・祝)～12月2日(日)の十日間にわたり開催されました。初日の23日(金・祝)は、加藤稲沢市長はじめ多くの来賓をお迎えし、オープニングセレモニーやイベント・アトラクションなど盛り沢山の催し物が開催されました。

今年も、テレビ局、ラジオ局、新聞等の報道関係からイチョウの黄葉や銀杏料理などについて、各種番組等に多く取りあげていただいた影響もあり、県内外から交通手段、イチョウ黄葉の見頃についての問い合わせなども頻繁にありました。期間中、山崎会場に出展された地元飲食組合のお店や物販店では、観光客で賑わい、農家の人も銀杏の販売に追われていました。



祖父江町体育館会場では、「いなっピーふれあいステージ」、大正琴、ハワイアンダンスなどの舞台発表があり、「歌謡ショー」なども開催され大好評でした。

観光協会では、旅行会社のバスツアー客に観光ボランティアによる現地ガイドを実施し

- 期 日／平成30年11月23日(金)～12月2日(日)
- 場 所／山崎会場、祖父江町体育館

喜んでいただきました。また、市内外からイチョウ黄葉を見に来ていただいた観光客の方々に稲沢市の観光ガイドマップ、観光ガイドブック、るるぶ稲沢などによる観光案内、「いなっピーグッズ」の販売をとおして稲沢市のPRも行いました。



いなっピーと一緒に稲沢市のPR活動

「いなっピーと一緒に市内外に出かけ、観光パンフレットによる観光PRやいなっピーグッズの販売を行いました。」

第10回愛知県観光交流サミットいなざわ

- 期日／平成30年11月29日(木)
- 場所／名古屋文理大学文化フォーラム(市民会館) ●参加者数／約900人

サミット



オープニングセレモニー



パネルディスカッション



観光物産展



ボランティア研修



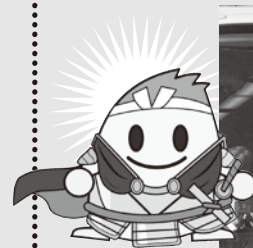
交流会

第13回愛知県市町村対抗駅伝競技大会「愛知ふるさと市」

- 期日／平成30年12月1日(土) ●場所／愛・地球博記念公園
- 出展ブース／37ブース



愛知ふるさと市



市内周遊バスツアー

01 天下の奇祭『国府宮はだか祭』

●平成31年2月17日(日) ●場所/尾張大國霊神社(国府宮神社) TEL0587-23-2121
 ●交通/名鉄名古屋本線『国府宮駅』から徒歩5分・JR東海道本線『稲沢駅』から徒歩15分

「はだか祭」は、正式名称を「儼追神事(なおいしんじ)」と言います。今から約1240年前、奈良時代の神護景雲元年(767年)称徳天皇が、「全国の国分寺に悪疫退散を祈れ」と勅命を発した際、尾張国司が総社である尾張大國霊神社に於いても祈禱したのが、儼追神事となって現在まで伝えられています。

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮神社一帯は祭りの興奮に包まれます。

祭りは、42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円からサラシのフンドシ、白足袋をつけただけの数千人の裸男が、裸になれない老若男女が厄除けの祈願を込めた布(なおいぎれ)を結び付けた「なおい笹」を、裸男たちが身代わりに捧げて威勢よく拝殿へ駆け込みます。

また、国府宮神社参道では、神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみ合います。



1
なおいしんじ しめばらたてしき
儼追神事(はだか祭) 標柱建式

旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「儼追神事」と大書された標柱が楼門前に建てられ、祭りの開幕を告げます。



2
なおいにん(しんおとこ) せんていしき
儼負人(神男) 選定式

午前10時、志願者を儼追殿に集めてその年の神男を選定。神男は三日三晩、儼追殿にこもり祭りの本番にそなえます。



3
おおかがみもちほうのう
大鏡餅奉納

お供えとして奉納される大鏡餅は、なんと50俵どり(約4トン)という巨大な代物。祭りの前日、神男に迎えられ拝殿へ納められます。




4
なおいしんじ
儼追神事(はだか祭)

旧暦正月13日午後3時過ぎ、神男に触れて厄を落とそうとする裸男たちが神男を待ち構えて揉み合う。そこへ神男がとびこみ、祭りはクライマックスを迎えます。



5
よなおいしんじ
夜儼追神事

午前3時、罪穢をつきこんだ土餅を背負った神男が境外へと追い出されます。そして、神男は途中で土餅をすてて帰宅し、神職はこの餅を地中に埋め、罪穢を封じ込めます。



6
おおかがみもちもちきりはじめ
大鏡餅餅切始

旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って参拝者に授与。この餅を食べると無病息災で過ごせるとの言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。

◆儼追神事関係行事日程表 平成31年(2019)

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月6日(水)	午前9時	① なおいしんじしめばらたてしき 儼追神事標柱建式	正月2日
2月6日(水)	午前10時	② なおいにん(しんおとこ)せんていしき 儼負人(神男)選定式	正月2日
2月10日(日)	午前9時	おおかがみもちもちあらい 大鏡餅餅米洗	正月6日
2月11日(月)	午前5時	おおかがみもちもちつき 大鏡餅餅搗	正月7日
2月14日(木)	午後5時	なおいにん(しんおとこ)せんろう 儼負人(神男)参籠	正月10日
2月15日(金)	午前9時	つちもちつきしんじならびにひらしたため 土餅搗神事並秘符認	正月11日
2月15日(金)	午前9時	おおかがみもちもちつき 大鏡餅飾付	正月11日

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月16日(土)	午後1時	③ おおかがみもちほうのう 大鏡餅奉納	正月12日
2月16日(土)	午後7時	ちやうやしんじ 庁舎神事	正月12日
2月17日(日)	午後3時	④ なおいしんじ 儼追神事(はだか祭)	正月13日
2月18日(月)	午前3時	⑤ よなおいしんじ 夜儼追神事	正月14日
2月18日(月)	午前8時	⑥ おおかがみもちもちきりはじめ 大鏡餅餅切始	正月14日
2月21日(木)	午後7時	まとしんじ 的射神事	正月17日
2月24日(日)	午前9時30分	ちやかい なおい茶会	正月20日

稲沢市キャンペーン・レディーを募集

市の観光事業やイベントなどを、より一層華やかに盛りあげるため、歴史と文化のまちにふさわしい、知的で活動的なかたを募集します。

募集人員：3名

- 応募資格：① 満18歳から満35歳までの女性
 ② 市、観光協会などの事業に1年間参加できる方
 ③ 親権者、雇用主の承諾を得た方
 ④ 類似した職務の任期中でない方

応募期間：平成30年12月3日(月)～平成31年1月24日(木)

応募方法：申込用紙に必要事項を記入し、上半身の写真を添えて、稲沢市観光協会へ

申込用紙：稲沢市(本庁、支所、市民センター)及び観光協会にあります
 面接審査：2月12日(火)

主な業務：観光協会及び市等が開催するイベント、各種行事のPR活動

任期：平成31年4月1日～翌年3月31日

その他：① 日当 9,200円 ② 交通費、食費は支給しません

③ 被服、その他装飾品は貸与します

④ 勤務中の災害は加入保険の範囲で補償します

問合せ先 稲沢市観光協会 電話 0587-22-1414

02 第13回いなざわ梅まつり

—“みんなでいこまいかあ〜” 稲沢へ!!—

●平成31年3月2日(土)・3日(日) ●AM9:30~PM4:00
 information ●場所/愛知県植木センター

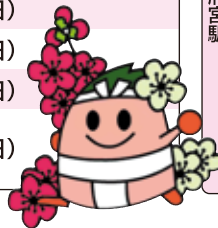
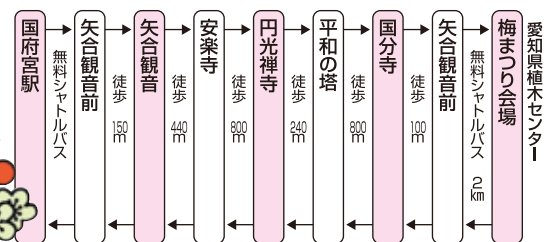
稲沢市は、全国的に植木、苗木の日本4大生産地の一つとして知られており、植木、苗木の研究・研修機関として愛知県植木センターが開設されています。園内には多種多様な樹木が集められており、四季折々に花が咲いております。とりわけ、梅は104種類、200本余りが植栽されており、全国的にも大変貴重な見本園であり開花時期には多数の見学者で賑わいます。

早春に美しい花を咲かせる梅の花を、皆様に堪能していただくため、愛知県植木センターの協力を得て第13回いなざわ梅まつりを開催します。

イベント内容	日時
写真・俳句大会入賞作品展	2月25日(月)~3月3日(日)
写真コンテスト	2月25日(月)~3月19日(火)
俳句大会	2月25日(月)~3月3日(日)
盆梅・お雛様・吊るし雛展	2月27日(水)~3月3日(日)
飲食・抹茶コーナー	3月2日(土)・3日(日)
稲沢市特産品の販売	3月2日(土)・3日(日)
植木・苗木の販売	3月2日(土)・3日(日)
郵便切手販売	3月2日(土)・3日(日)
樹木ウォッチング	3月2日(土)・3日(日)
樹木医による緑化相談	3月2日(土)・3日(日)
愛知県緑化樹木共進会受賞写真展	3月2日(土)・3日(日)
スタンプラリー	3月2日(土)・3日(日)
子供向けコーナー	3月2日(土)・3日(日)
健康相談コーナー	3月2日(土)・3日(日)
愛知県立一宮高等技術専門校 稲沢校舎総合造園科 開放	3月2日(土)・3日(日)



いなざわ梅まつりモデルコース いなざわ矢合観音と3ヶ寺めぐり



03 へいわさくらまつり

●平成31年4月6日(土)
 information ●場所/平和町体育館

《イベント》ステージイベント、飲食コーナー、抽選会など平和町には、総延長約2.8kmを桜並木でつないでいる桜ネックレスがあります。

ここには、八重桜を中心に約60種類の里桜およそ1400本が咲き誇り、3月から4月末まで楽しむことができます。



04 稲沢桜まつり

●平成31年4月6日(土)
 information ●場所/国府宮神社参道一帯

《イベント》ステージイベント、茶会、写生大会、飲食コーナーなど国府宮神社参道に咲く満開の桜の下で、茶会や演奏会、写生大会などの催しが開かれます。

夜には桜をライトアップし、美しい桜が浮かび上がります。



稲沢市観光協会会員を募集しています

会費：法人会員 一口5,000円 以上 / 個人会員 一口1,000円以上

平成18年8月7日に稲沢市観光協会が設立して、はや13年目を迎えました。会員の皆様方のご理解とご協力によりまして、事業も着実に進んでいるところです。

今後、さらに観光都市として、市内外からのお客様へのおもてなしのため、観光施設や特産品など観光資源の整備はもとより、歴史、文化、景観といった地域観光資源を活かした体験の機会や、情報発信力などの拡充が必要です。

そこで、稲沢市の観光振興を図るため、観光協会の組織基盤の強化と活性化のため、多くの会員の募集をいたします。お知り合いなどで未加入の方がお見えになりましたら、是非、会員への勧誘をお願いいたします。